

職業リハ学会通信

NO.144 2015年 12月発行

学会大会

日本職業リハビリテーション学会 第44回(京都)

会期:2016年8月下旬

会場:立命館大学(衣笠キャンパス、京都市北区)

大会テーマ:問われる労働の質、支援の質 –職業リハビリテーションの視点から–

2016年の第44回大会は、立命館大学(衣笠キャンパス、京都市北区)にて2016年8月下旬開催予定です。お逢いしましょう!!

日本職業リハビリテーション学会第44回大会は、京都の立命館大学(衣笠キャンパス)にて、平成28年8月下旬の2日間(平成28年2月末には日程が決まる予定)開催されることになりました。

大会テーマは「問われる労働の質、支援の質–職業リハビリテーションの視点から–」となりました。43回大会に引き続き、ここ10数年の急激な様々な量の変化をどのように受け止めるべきか、というテーマです。昨年は「方法と技術を考える」という視点でしたが、44回大会は「労働の質、支援の質」という視点から考えようという提起です。

ここ10数年の職業リハビリテーション関係の急激な量の変化、支援対象の拡大、支援者数増、雇用率等の改善等々、順調あるいは急激な変化と言えます。しかし労働者一般の状況は、依然としてやまないカローシ、ブラック企業等の社会問題化、収入等が安定しない非正規雇用者増が指摘されています。障害者雇用は例外あるいは特例なのでしょうか。関係者の努力もあってここ数年、精神障害者雇用数が大きく増えています、しかしこれまでネックとされてきた障害理解が大きく変

わった、ということは想定されません。量の変化を質という視点で問いなおし、「量とともに質」という発展を創り出す課題を議論しましょう。

現代の労働の質、安心して生きがいを持ってというデーセントワークでしょう。就労の福祉的支援、移行支援、定着支援、安定就労支援等々でその質をどのように具体化していくべきか、研究の成果や実践を持ち寄りましょう。

第44回大会 準備委員長
峰島厚(立命館大学特任教授)



立命館大学衣笠キャンパス

今や京都は、日本いや世界の観光地になってきています。とにかく、人、人でいっぱい、ホテルのエレベーターも日本人は少数派です。ですから、市内の宿泊、当日だと「ない」ということもあります。すいませんが、土日避けるように日程確保の努力をしているところです。

- ・大会日程が決まりましたら、できるだけ早くにお届けします。そしたらなるべく早くに宿を、それぞれに確保するよう、お願いします。平日でも満員はあり得ます。
- ・大会前後の楽しみ、残暑があるとはいえ、涼を求めるものはいくらでもあります。ただし少しお金がかかるものは事前予約を。

第44回学会大会のご案内	1P
第3回運営理事会 報告	2P
委員会報告	4P
ブロック活動報告	5P
新入会員のお知らせ	9P
事務局からのお知らせ	9P